



校長の目 ～西小日々通信～

令和5年5月19日（金）



3年生が社会科学習の一環として、西公民館の見学に行ってきました。3年生の社会科では、市の様子について学習します。その中でも公的機関の役割は重要な学習内容になっていますので、学区の中にある公民館はとてありがたい存在です。職員の皆様には毎年お世話になっており、いつも子供たちにわかりやすく説明していただきます。西公民館は、子供たちにとっても馴染深い場所ですが、新しい発見もたくさんあります。公民館が、市民の生活を豊かにするために欠かせない施設であり、貴重な学びの場であることが、子供たちにも伝わったことでしょう。

社会教育施設としての公民館は、第二次世界大戦後に法整備とともに日本各地に設置されました。当時は、新しい憲法である日本国憲法を地域住民が学ぶ場でした。公民館は、時代とともに求められる役割が移り変わってきていますが、今ではあらゆる世代の人々が豊かで健康的な生活を送り、地域のコミュニケーションを活性化するために、様々な行事やサークル活動等が行われています。また、自然災害時は、避難所としての機能も持ち合わせています。



子供たちの発想にはいつも驚かされたり、新たな気づきや刺激をもらったりしています。1年生の教室前の掲示板には、子供たちの絵が飾られています。絵を描くといえば、多くは定型の画用紙に描くことが多いのですが、掲示されているのは長細い短冊状の画用紙です。「ながーい かみから」という題材名の学習です。子供たちは、長細い紙をいろいろな方向から見て、長い紙に描いてみたいものを想像し表現します。電車だったり、青虫だったり、木だったり、紙の形に合ったモチーフを考えて描きます。紙を横長に使うと花をたくさん並べ花壇のように描く子もいます。同じ花でも、紙を縦長にして茎を長く描き、空に向かってぐんぐん伸びていく花を描く子もいます。感性は子供の数だけあり、どれを見ても「なるほどなあ」と感心してしまいます。



運動会の練習が着々と進んでいます。今日は、高学年が校庭で表現運動の練習を行いました。旗（フラッグ）を用いた運動です。赤・青・黄のフラッグを一齐に振ると、鮮やかさもさることながら、バサッ、バサッという風切り音がとても心地いいです。運動会当日をぜひ楽しみにいただければと思います。

